

寺井中に旧皇族の碑

閑院宮春仁王 軍事演習で來訪

「それで、寺井中学校の敷地内に『紫陽花宮』王政下台像と書かれた碑があると聞いた。閑院宮は王は旧皇族とのことで元住民にも石碑のことはほとんど知られていない」という。なぜ皇室の記念碑が学校に？ ベールに包まれた建立の経緯を確かめようと耳を傾けた。

学校関係者も?

小だつたといふことになる。

小学校で食事

時、の實績があつて、いた。必ずそれが、その年とその秋、
4月頃には、ばかりか、十一月頃には、國税の御立派、といふ記述が、始ま
る。要するに、下記は、大き
き、実績から、輸出の様子
を記した資料を取扱して、
それを、いつまで、前半
まで、あるに、食事取ったし。
11時半ころに食事取ったし。

知られぬ存在 令和改元で光を



閑院宮春仁王が訪れたことを記す石碑
—能美市寺井中



關院富春(王)
王は第7代で、1933年
に陸軍大学校を卒業。
陸軍大佐。40年秋、階級
に勳勲章として陸相(國田中)を
贈呈した。敗戦後の47年に關院
88年に95歳で亡くなった。

多くの町民は学校の前に並んで出迎え、そして見送ったことが記載されていた。

別の日、協議会メンバー市議の野原修三(さんじゆ)がそれを補足するうな祐和と時期の関連資料を見せてくる。資料には「第九回園田秋た。資料には『第九回園田秋』

時代に感じる
残る古い資料
滞在した旧軍
校の「」碑にひ
地元の多くの
の地への愛着
いかと思つた

あり、手取川河川敷で軍事演習を行なつた。